事業所名		さくらプラス桑名星川		公表日		令和7年2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		静かに過ごせるスペースを確保したり、その日のご利用者に合わせて、部屋を代えたりわけたりしている。	お昼寝する子への環境設定に改善する余地がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動場所は明確化されている。バリアフリー化はできており、トイレの場所も入り口も広くわかりやすい。	廊下との温度差がある為、検討している。安全に過ごせるようにゲートや触れないように鍵の設置など改善にと努める。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		ケガしないようマット設置している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お昼寝したり静かな空間で過ごす時間が欲しい時に別の部屋で過ごせるようにしている。	音を遮断できない為、部屋を代えていても音など落ち着けないことがある為、部屋の配置の検討をしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所会議を月1回実施。看護師は別で会議を同じく月1回実施して医療の面と合わせて職員間で共有と周知をしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後実施していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、様々なテーマで研修実施されzoomで参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		毎月一人ずつケース検討を行い、支援についての確認や保護者様との話(意向など)を共有することで方向性を揃え、それを計画書に反映している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		意見交換を常時しながら、気になることや支援方法など話し合っている。その子にとって必要な支援を検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画更新時は、職員へ確認できるよう伝達ファイルに入れ周知できるようにしている。	全員が計画に沿って細かな部分まで確実にとはいかない為、再度確認と声の掛け合いが必要。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の様子を記録に残していきながら、振り返り確認できるようにしている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所会議で毎月話し合っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		発達に合わせて、社会性が必要な子や一人遊びの段階の子など個々に合わせて支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			個々に話をしたりしているが、出勤者全員とまではいかない為、振り返ったり意見を残せる形を作れるようにしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年の1度モニタリングを実施して、スタッフからの聞き取りをしながら見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者兼児童発達支援管理責任者と看護師が同席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		事業所での様子を親御さんを通して主治医に相談していただいたり、必要に応じて関係機関に相談を行うようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		日ごろから学校の先生とのコミュニケーションを図り共有を行っている。他事業所と定期的に会議を実施して併行利用する利用者に関して情報共有と同じ方向性で支援ができるように努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		研修へ積極的に参加しその際にも困りごとや相談ができる機会を作っていたりしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後取り入れていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や、それ以外でも都度伝えたり相談したり、助言もいただいたりして密にコミュニケーションを図るようにしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族支援を含め今後情報提供に努める。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			支援プログラムに関しては作成済みのため、今後家族へ配布していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成時には本人(代弁)、家族の想いを聞き取りながら、必要な支援や取り組んで欲しいことなど計画書に反映している。定期的に確認を行っている。	対面での面談が確実にはできていない為、時間をいただきなるべく対面で面談を実施していくよう今後努める。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等開催はしていない。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談等があれば、管理者に即報告し、迅速に対応できるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		1カ月の活動スケジュールの配布とSNSにて活動の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ボランティアの方に来てもらう機会を設けている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		感染対策マニュアル作成と訓練も実施している。ご家族へ訓練実施は報告しているが、マニュアルの周知までには至っていない。	マニュアルの見直しと作成を実施して、ご家族への周知を行っていくよう努めていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回の避難訓練実施している。	災害に備え指定の避難所へ実際に行き、経路や時間、問題点などないか確認していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前のアセスメント時や都度看護師より細かくご家族より聞き取りを実施して、それを書面にて周知している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師より指示書を頂いてそれに基づいて対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			必要時、外部の研修受けるなど安全管理に努めていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	口頭では説明したりしている。	今後全員への周知を書面でわかりやすく提示をしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		対象の方はいないが、定期的に研修を受けている。		